

ロシア・中国ビジネスセミナー

平成28年1月15日(金)、鳥取市国際経済発展協議会主催のロシア・中国ビジネスセミナーに出席しました。

テツオ・トレーディング(株)代表取締役鐵尾安夫氏の講演では、ロシア経済は、原油価格の安値安定と欧米による経済制裁などにより減速しているが、原油価格の上昇や経済制裁が緩和されれば、経済再生につながる可能性が高い。また、極東企業の工業設備、港湾設備などは相当古く、買い替え需要が見込めることや、極東地域では品質が良く安全な日本製品の需要が高まるなど、ロシア極東市場の様々なビジネスチャンスが存在するとの説明がありました。

また、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)海外調査部中国北アジア課日向裕弥氏の講演では、中国経済は、高成長から中成長への移行期にあるが、2020年までは年6%程度の経済成長が維持されるだろう。景気減速を感じる声は多いが、個人消費は伸びており、日本製品の機能性、安全性、信頼性に対する高い評価は増しているとの説明がありました。



鐵尾 安夫氏の講演



事務局から説明



日向 裕弥氏の講演

第9期展示は「砂で世界旅行 南米編」



砂の美術館は、2006年以降、毎年テーマを変え、世界トップクラスの砂像彫刻家が繊細で存在感のある作品を創り出し、これまで250万人を超える方に来場いただきました。

第9期の展示テーマは「砂で世界旅行・南米編」。世界的にも有名な大自然を有する絶景スポットや謎を秘めた古代遺跡、情熱的で多様な文化など繁栄の記憶を留める奇蹟の新大陸を砂像で再現します。

幻想的、かつ繊細で圧倒的なスケールの砂像の世界をお楽しみください。

【第9期展示「砂で世界旅行・南米編」】

<会 期> 平成28年4月16日(土)
～平成29年1月3日(火)

<料 金> 大 人 600円
小中高 300円

外国貿易支援制度(御案内)

外国貿易(輸出入)貨物の取扱いを増やし、港湾利用を促進するため、鳥取港を利用された荷主又は輸出入者の方(以下「荷主等」という。)に、港湾荷役経費の一部補助と港湾施設使用料の減免を行います。

<問い合わせ先> 鳥取港振興会事務局

<支援内容>

(1) 港湾荷役経費の一部補助 (申込先: 鳥取港振興会)

鳥取港での港湾荷役経費の2分の1を補助します。

⇒ 補助上限額

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| ① 鳥取港にとって新規貿易貨物(※2)の場合 | 100万円 |
| ② 荷主等にとって新規貿易貨物(※2)の場合〔2年間〕 | 50万円 |
| ③ 荷主等の貿易貨物量が増加(※3)した場合 | 50万円 |
| ④ 上記①～③の該当荷主等が同一年度内に継続して輸出入(※4)を行う場合 | 30万円 |

※1. ①～③は年度内の1取引とし、併給はありません。

※2. 新規貨物の判断は、実行関税率表の分類単位で行い、過去5年間鳥取港で取扱いがない品目とします。

当該荷主等が次年度に同一品目を輸出入した場合は、②の対象とします。

※3. 貨物量が、前年度及び過去3カ年度平均実績と比較し年間500t(又は㎡)以上増加した場合とします。

※4. 補助回数は、年間4回までとします。

※5. 見本品や試供品等の輸出入は対象外とします。

(2) 港湾施設使用料の減免 (申込先: 鳥取港湾事務所)

「(1)港湾荷役経費の一部補助」の①～③の補助を受けた事業者に対して、同貿易に係る港湾施設使用料が減免されます。

① 岸壁使用料、荷役機械・上屋・野積場使用料を減免(最長10日間)

② 原木輸出における野積場の使用料は、最長30日間免除し、免除する野積場面積の上限は6,000㎡とする。



密輸(薬物・銃器)・密航

水際防止

何か
おかしいなと
感じたら
118番
海上保安庁
緊急電話番号

118番は海上保安庁緊急電話番号です。



「安全・安心な社会を目指して」
密輸情報 の提供にご協力ください!



密輸ダイヤル(24時間受付)

シロイ クロイ

0120-461-961

(携帯からも利用できます)

神戸税関 境税関支署 鳥取監視署

TEL.0857-25-1115



編集後記

このたび、4月1日付で異動することになりました。振り返りますと、皆様のご理解とご協力があって取り組むことが出来た3年間でありました。この場を借りて深く感謝申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

今後とも鳥取港の振興のため、お力添えいただきますようお願いいたします。(山本)

鳥取港振興会事務局

〒680-8570

鳥取市東町1丁目220番地(県本庁舎5階)

TEL(0857)22-1836/FAX(0857)22-1848

E-mail: tottoriport@tea.ocn.ne.jp

鳥取港振興会
ニュース

港湾だより65号

(平成28年3月発行)



とっとり松葉がに「五輝星」
初売りセレモニー(11月7日)

INDEX

- 平成27年鳥取港取扱貨物量
- 平成28年度鳥取港関係予算
- 「鳥取かにフェスタ2015」盛会
- 他港視察(京都舞鶴港・福井港)
- 山陰近畿自動車道整備推進決起大会
- 鳥取港から原木が初輸出
- 各種会議の参加報告
- 第9期展示は「砂で世界旅行 南米編」
- 外国貿易支援制度(御案内)

発行:鳥取港振興会

平成27年(2015年)鳥取港港湾統計年報【速報値】

平成27年の鳥取港の貨物取扱量は、723,797トンで、前年と比べて39,575トンの増(対前年比約6%増)となり、過去10年においては2番目の取扱貨物量を記録しました。

主な増加要因としては、公共事業予算も横ばいとなっていた中、鳥取港周辺において山陰近畿自動車道の整備が促進され、また、民間事業者による大型店舗の駐車場整備等に利用される石灰石やセメント、砂利・砂(鉄鋼スラグ含む)といった建設資材が増え、増加傾向に転じました。

また、中国の木材需要の拡大や円安の影響も加わり、今回は初めて原木が輸出されました。

(単位:トン)

内 貿				
	品 種 別	25年	26年	27年
移 出	石 材	38,005	17,192	14,142
	砂利砂(製鋼スラグ)	22,270	1,500	1,520
	水	3,325	3,988	3,305
	窯 業 品	3,022	2,852	8,820
	石 灰 石	1,600	—	—
	重 油	1,599	1,684	1,601
	その他品種	21	11	16
	移 出 計	69,842	27,227	29,404
移 入	砂 利 ・ 砂	440,307	396,017	399,360
	(うち製鋼スラグ)	(350,126)	(284,837)	(265,290)
	石 灰 石	155,530	134,200	163,200
	セ メ ン ト	61,800	63,500	68,350
	石 材	41,605	10,009	13,910
	重 油	29,429	28,232	27,804
	その他品種	6,992	3,292	3,215
	移 入 計	735,663	635,250	675,839
移 出 入 計		805,505	662,477	705,243

	25年	26年	27年
内貿外貿計	828,305	684,222	723,797

外 貿				
	品 種 別	25年	26年	27年
輸 出	原 木	—	—	2,119
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	輸 出 計	0	0	2,119
輸 入	化学薬品	15,800	11,700	16,435
	石 材	7,000	10,045	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	輸 入 計	22,800	21,745	16,435
輸 出 入 計		22,800	21,745	18,554

平成28年度鳥取港関係予算

平成28年度の鳥取港関係予算は、港湾環境整備を促進する事業内容となっております。

(単位:千円)

事 業 名	所在地・地区名	施 設 名	H28事業費	H27事業費
【直 轄】 改 修(重 要)	千 代	防波堤(第1)(西)	325,000	325,000
【交付金】 社会資本整備総合交付金等	千代外	エプロン補修・鋼管補修	67,170	64,946
合 計			392,170	389,946

○防波堤改修は、鳥取港への船舶入出港時の安全性向上(西浜航路の開設)及び静穏度向上を図る事業です。

○エプロン補修等は、既存施設の延命化のための改良・補修です。

「鳥取かにフェスタ2015」盛会

平成27年11月14日(土)、松葉がにをPRする「鳥取かにフェスタ2015」が、色彩豊かな大漁旗が飾られた鳥取県漁業協同組合荷捌所を主会場にマリニアピア賀露で開催されました。

当日は、トップブランド「五輝星」(甲幅13.5cm以上、体重1.2kg以上など一定の条件を満たした松葉がに)の展示をはじめ、新鮮な水産物の販売・飲食コーナー、毎年好評の「かに汁」無料配付(先着1000名分)に長蛇の列ができるなど、多くの観光客や家族連れらで賑わいました。



他港視察(京都舞鶴港・福井港)

他港の取組を参考にしようと、平成28年3月2日(水)に京都府京都舞鶴港、翌3日(木)に福井県福井港を視察しました。

京都舞鶴港は、平成23年11月に日本海側拠点港に選定され、国内はもとより対岸諸国との経済交流、観光振興に取り組まれています。取扱貨物量は、5年連続で1,000万トンを超え、平成26年のコンテナ貨物量は、過去最高を記録されています。

舞鶴市の担当者からは、京都舞鶴港は湾口が狭く湾内が広いため、潮流干満の差が小さく気象条件に左右されることがない天然の良港であることや、舞鶴若狭自動車道や京都縦貫自動車道の全線開通による高速道路網の整備により、港湾利用を検討される背後地事業者の選択肢が広がるとともに、クルーズ客船の入港が観光産業にも好影響を与えていることを伺いました。

福井港は、昭和61年に日本海側で初めて国家石油備蓄基地が整備されるなど、重油と石油製品が取扱貨物量の約6割を占めています。

福井港の担当の方からは、港に隣接するテクノポートには70社以上の企業が進出しているが、港湾を利用する企業が少ないため、バンニング用スロープを設置し敦賀港に入ったコンテナ貨物をドレージ輸送しデバニング(コンテナから荷物を取り出す作業)を行うことで、港湾利用の促進につなげていることなど、参考になるお話を伺いました。

(参加者：鳥取港振興会会員等8名)



舞鶴市役所の職員による説明



福井港湾事務所の職員による説明

山陰近畿自動車道整備推進決起大会に参加

平成27年11月17日(火)、参議院議員会館講堂に於いて開催された「山陰近畿自動車道整備推進決起大会」に当振興会も関係団体として参加しました。

山陰近畿自動車道(鳥取市～京都府宮津市間120km)の早期完成を目指し、沿線3府県(鳥取、兵庫、京都)でつくる協議会と国会議員による推進大会で、振興会からは、役員でもある日本通運(株)鳥取支店の中山営業次長と三洋製紙(株)の花原取締役総務部長に御出席いただきました。

平井鳥取県知事から、「山陰近畿自動車道は、地方創生の命運を握る道である。早期に事業着手をお願いしたい。」と発言があったほか、最後に、要望書が国土交通省の森道路局長に手渡された後、全員で整備推進に向けシュプレヒコールを挙げました。



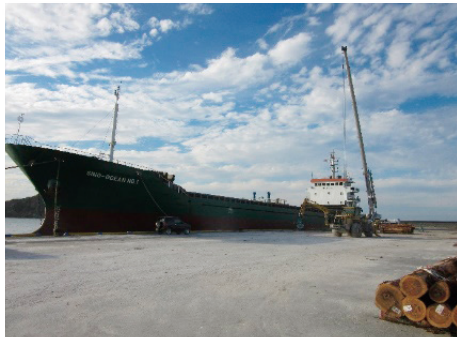
要望書を手にする石破大臣と平井知事

鳥取港から原木が初輸出

平成27年10月17日(土)、鳥取港では初となる国産の原木が海外へ輸出されました。

輸出されたのは、株式会社エコ開発(代表取締役荒川美鈴氏)で、国産の杉丸太を中国山東省に輸出されました。岩壁では、接岸された貨物船に重機やクレーンを使い、手際よく積み込まれていました。

今回の初輸出が、これまで少なかった鳥取港での外国貿易の新たな輸出貨物として期待されるとともに、県東部中山間地の雇用拡大や森林整備が一層進むことが期待されます。



積み込みの様子



山積みされた原木

メタンハイドレート新たなエネルギーの可能性

エネルギー資源が乏しいといわれる日本において、メタンハイドレートは新たな海洋エネルギー資源のひとつとして注目されています。

平成28年3月12日に鳥取県立図書館で開催された講義では、表層型メタンハイドレート研の第一人者といわれる明治大学研究・知財戦略機構ガスハイドレートの松本良特任教授から、「これまでの資源量調査により、鳥取・兵庫両県の沖合にある隠岐トラフでの表層型メタンハイドレートの埋蔵量は予想以上に多いことがわかった。太平洋のメタンハイドレートは砂層型であるため、日本海の方が回収しやすい。」

また、「鳥取市内には、鳥取県や鳥取大学の協力もあり、海底で採取したコアサンプルを保管する施設もでき、鳥取県は日本海側の調査拠点としての役割を果たしている。」との説明がありました。



松本特任教授の講義



コアサンプルを手にとり説明されました

日本港湾振興団体連合会総会に参加

平成27年10月13日、日本港湾振興団体連合会(会長・篠田昭新潟市長)総会が愛媛県今治市で開催されました。広島大学大学院の三浦正幸教授から「海城」をテーマに講演があり、今治港と水路でつながる今治城について、「海城の中でも、船を係留していた『船入』が現在も港として活用されているのは全国でも今治だけ。歴史的にも価値がある。」との説明がありました。

また、海事に携わる各種産業が世界規模で集積する「日本最大級の海事都市今治」を象徴する、今治造船(株)の本社と今治工場を視察しました。甲子園球場4個近くを有するスケールの大きな敷地や、巨大なクレーンが空中を移動する光景に圧倒されました。



総会の模様



今治造船の視察